

10/18 相模女子大学風間名誉教授が「江戸時代の出版文化」をテーマに講演 NHK大河ドラマで注目される江戸戯作の実物を紹介

学校法人相模女子大学（所在地：神奈川県相模原市南区、理事長：風間誠史）は、学校法人相模女子大学創立125周年・大野南公民館創立75周年を記念し、名誉教授である風間誠史による、江戸時代の出版文化に関する講演会「江戸の戯作と『学び』-『べらぼう』な世界を支えたもの」を、相模女子大学創立記念日である10月18日（土）10時から、相模女子大学「夢をかなえるセンター・ガーデンホール」にて開催します。

■ 講演の概要



写真は『修紫田舎源氏』
（写真出典：相模女子大学附属図書館 所蔵）

相模女子大学は戦前の帝国女子専門学校の時代から、百年を超える国文学研究の歴史を有しており、附属図書館には、多くの古典籍を収蔵しています。

今回は大河ドラマ「べらぼう」で注目されている江戸戯作の実物をお見せしながら、その特色と展開をお話します。そして、その豊かな江戸の文化を支えた人々の「学び」のあり方を考える場となれと思います。

当日は、薦屋重三郎が出版した黄表紙や洒落本をはじめ、寛政の改革での出版統制を経て新たに展開した合巻、滑稽本、人情本などの実物を閲覧できるようにします。

特に江戸戯作の造本の素晴らしさを最もよく示す合巻『修紫田舎源氏（にせむらさきいなかげんじ）』は一見の価値があります。江戸文化の粋を感じることができるでしょう。

■ 講演者プロフィール



風間誠史（相模女子大学名誉教授、学校法人相模女子大学理事長）

1981年東京都立大学人文学部卒、1998年東京都立大学大学院より博士（文学）の学位を授与される。1993年相模女子大学短期大学部講師に就任、助教授を経て、2001年相模女子大学学芸学部教授に就任。同大学学芸学部長、副学長を歴任し、2015年学長に就任。2021年理事長に就任し、現在に至る。専門は日本近世文学。

【講演概要】

- 講演：江戸の戯作と「学び」-「べらぼう」な世界を支えたもの
- 日時：2025年10月18日（土）10時～12時（開場9時30分）
- 場所：相模女子大学 夢をかなえるセンター・ガーデンホール
（相模原市南区文京2丁目1番1号）
- 費用：無料
- 定員：先着100名
- 参加申込：9/9（火）～10/8（水）午後5時まで二次元コードから申し込み



【本件に関するお問い合わせ先】

相模女子大学 広報事務局 米澤智子（ワンパーパス株式会社内）

〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京2丁目1番1号

TEL: 080-5083-6834 / e-mail: t-yonezawa@onepurpose-pr.com

学園キャラクター
さがっば・ジョー

